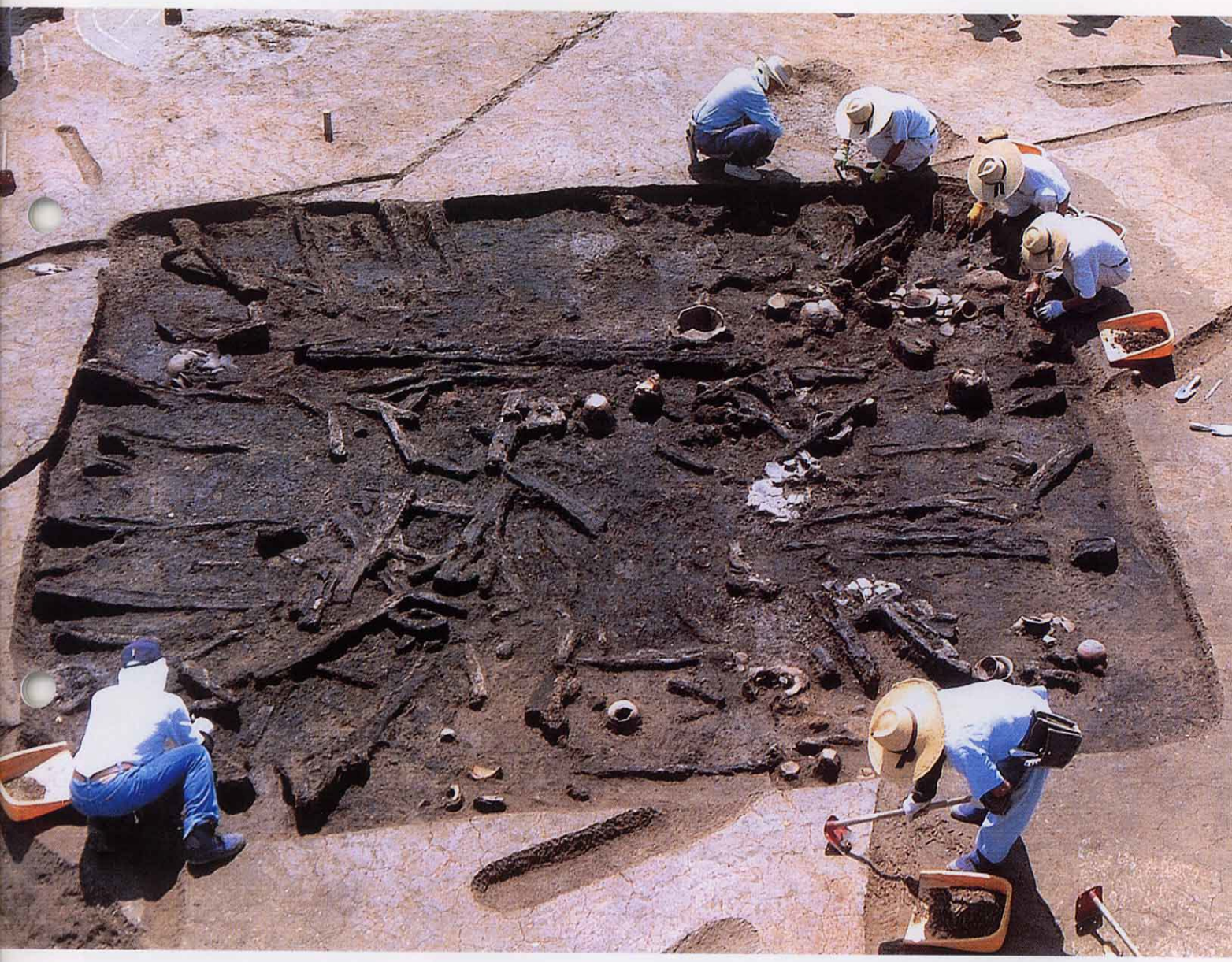
ISSN 1341-4046

埋文やまがた

2003年2月28日
第25号



天童市　高擶南遺跡　焼失家屋

財団法人　山形県埋蔵文化財センター
YAMAGATA　PREFECTURE　ARCHAEOLOGY　CENTER
〒999-3161　山形県上山市弁天二丁目15番1号　TEL 023-672-5301㈹　FAX 023-672-5586
ホームページ：www.yamagatamaibun.or.jp
メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

2002年度　文化財普及事業の報告

発掘調査事業とともに私たちが力を注いでいる仕事に、文化財保護思想の普及があります。普及活動を通して多くの方々に接することで、文化財に対する理解を深めていただければと願っています。

そこで今回は、今年度行ってきた普及事業についてまとめてみました。

調査説明会

発掘調査期間中に説明会を開催して、その成果を広く公開しています。現地では、昔の生活の跡や出土した遺物を目の当たりにできます。

ここでは、今年度開催された調査説明会をふり返って、その一部をご紹介します。

今年度最初に行われた山形市坂ノ上遺跡の調査説明会。江戸時代の羽州街道跡が発見され、ニュースとなりました。

平成14年度発掘調査一覧

No.	遺　跡　名	所在地	時代区分
1	小平２遺跡	八幡町	平安
2	小平３遺跡	八幡町	平安
3	泉森南窯跡	酒田市	平安
4	西向遺跡	鶴岡市	縄文（中期）
5	高擶南遺跡（第２次）	天童市	古墳
6	達磨寺遺跡	中山町	古墳～平安
7	川前２遺跡	山形市・中山町	奈良・平安
8	大明神遺跡	山形市	平安
9	山形西高敷地内遺跡（第６次）	山形市	縄文～平安
10	坂ノ上遺跡（第２次）	山形市	近世
11	山形城三の丸遺跡	山形市	近世
12	東畑A遺跡	南陽市	奈良・平安
13	飛泉寺跡遺跡（第２次）	小国町	中世・近世

鶴岡市西向遺跡。現在は雑木林となっている場所から、縄文時代のムラの跡が見つかり、地元のみなさんも興味津々。

山形市山形西高敷地内遺跡での説明会風景。こんな土器が使われていたんだヨ。

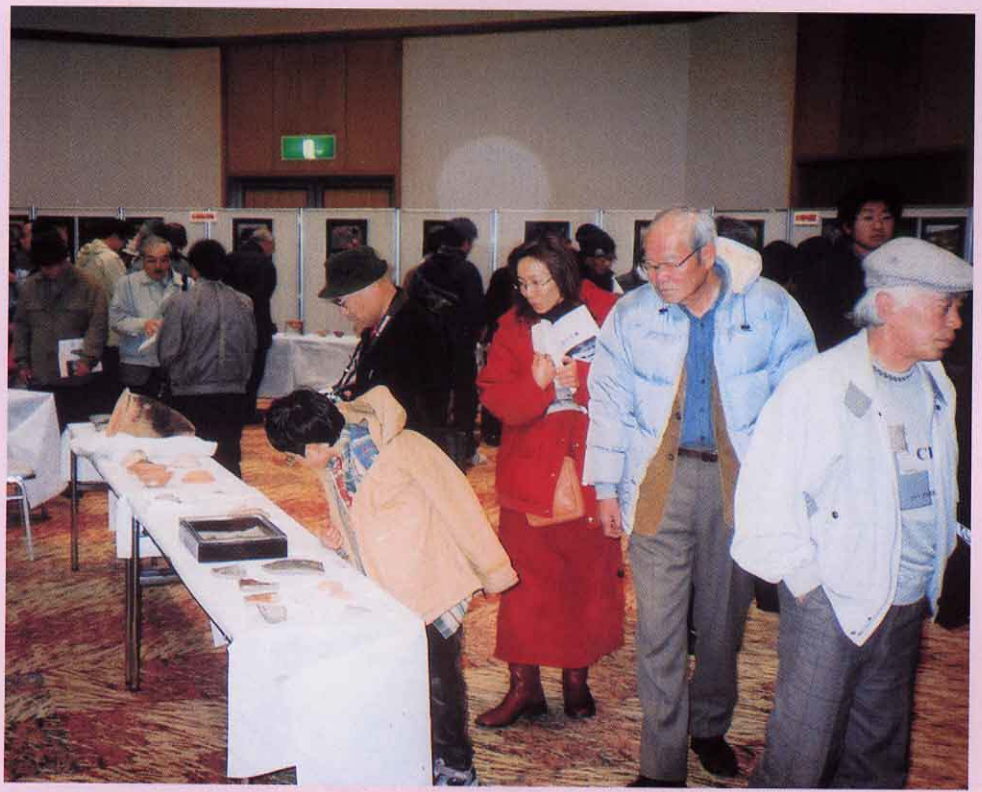
出土した土器はこんなふうに展示して公開されます。

山形県埋蔵文化財発掘調査報告会

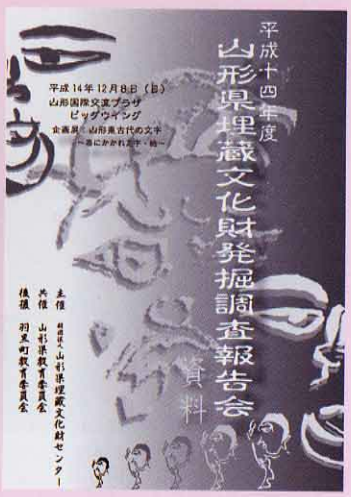
本年度の発掘調査報告会が、12月８日（日）山形ビッグウィングを会場に行われました。初冬の寒さの中でしたが、参加者は300名を越えました。発掘報告会と並行し、報告遺跡の遺物とパネル展示、並びに「山形県古代の文字～器にかかれた字・絵～」の企画展も開かれました。

報告会会場のようす

企画展のようす



報告遺跡の遺物とパネル展示



来年も予定しております。
ぜひご来場下さい。

縄文やまがたフェスティバル

日時：2002年９月１日（日）　場所：山形市　山形国際交流プラザ（ビッグウィング）

当センターと日本道路公団東北支社山形工事事務所の共催で行われました。東北中央自動車道山形上山～東根間の開通記念も兼ねて、さまざまな催しが行われました。１日だけの開催でしたが、約3,000人の方が入場されました。

縄文クッキーつくり

「はちみつ入れて、
塩も少々……」

「クッキー焼けたかな」

「この石器、切れる」

行列のできた縄文どんぐりなべ　お味は……

縄文人と背比べ

縄文時代の編み物「あんぎん」体験

縄文太鼓と縄文舞踊
（宮城県「中新田縄文太鼓」のみなさん）

建設中の高速道路体験走行
「この下が遺跡です」

ハイウェイコミュニケーション in東北2002

日時：2002年９月28日（土）・29日（日）　場所：仙台市勾当台公園市民広場

東北六県の代表的な産物や観光案内イベントの一角に、日本道路公団東北支社山形工事事務所の依頼を受け、「勾玉（まがたま）つくり」コーナーを開設しました。初日はあいにくの雨でしたが、２日間で170人の方が勾玉をつくりました。

埋文センター テレビ出演

2002年７月29日～８月２日

ＮＨＫ山形放送局夕方のニュース番組で５日間にわたり毎日10分間、当センターが紹介されました。

最上川の河原での撮影。
石器つくりと矢を
飛ばしました。

本番で見事に火が起きました

縄文時代の編み物「あんぎん」

縄文クッキーづくり

出前授業

今年度は小学校14校、中学校４校の合わせて18校へ出前いたしました。各学校のテーマに合わせてプログラムを組んだおかげで、多岐にわたりバラエティ豊かなものとなりました。ここではその一端をご紹介しましょう。

初めての火おこしにびっくり！
（大石田町立亀井田小）

古代米味くらべ！
赤・黒・白、好きなごはんはどれ？
（山形市立高楯中）

初めて触れた縄文土器の感触は？
（山形市立第六小）

素地作りからやりました！どんな縄文土器ができるかな？
（中山町立長崎小）

これぞ縄文クッキー！男の味！！
（天童市立第四中　文化祭）

じっくり土器を観察、将来は考古学者！！
（上山市立上山北中）

挑戦！ 発掘体験

2002年６月29日（土）寒河江市立醍醐小学校のみなさんが親子発掘体験で中山町の川前２遺跡を訪れました。

発掘現場へ行く前の学習風景

出たぁ～！
川前に
カイジュウが…

川前２遺跡から出土した
「海獣葡萄鏡（かいじゅうぶどうきょう）」
東北二例目の極めてめずらしい

本当にこんな場所から土器が出るのかな……？
（説明している人に悪いけど……）

これがうわさのジョレンがけ

発掘に夢中の子どもたち。
「そっと掘り出せ」と心配顔の親たち（調査員も）

国指定史跡

堂の前遺跡

昭和30年、水田の下から大量の建築部材が発見されました。これが、堂の前遺跡が世に知られたきっかけです。その後昭和48年から送電線工事や大規模ほ場整備事業などに対処するために、継続して発掘調査が行われ、かつて発見された古建築材は、低湿地に建物を建てる際に基壇の基礎工事として行われた筏風地業であることがわかりました。大量の建築部材の内、昭和48年の調査で肘木と斗が取り上げられ、現在、八幡町教育委員会に保管されています。12m四方という地業の規模や、周囲に巡る縁束と思われる痕跡などから、塔の基壇ではないかと考えられています。

堂の前遺跡は、大物忌神が坐す霊峰・鳥海山をすぐ北に仰ぎ見ることのできる、八幡町法連寺字堂の前にあり、平安時代の出羽国府跡と考えられている、史跡・城輪柵跡の東方約１kmに位置します。

遺跡の四囲は溝で区画されており、東西約240m、南北約260mと、約２町四方の規模が想定されます。区画内の北西部には、梁間４間、桁行７間の礎石建物跡、筏風地業の西には、直径50cmを超える柱で構成される掘建柱建物跡があり、南門跡と中門跡ではないかと考えられる八脚門も見つかっています。

特筆すべき遺物として、役人のみが着用できた革ベルトを飾る石帯や、物忌に用いられる「急々如律令」と墨書された木の札（物忌札）などがあり、国が色濃く関与した施設であることをうかがわせます。

国の史書である『続日本後紀』の承和４年（837）６月６日条に「（出羽国司・小野）宗成司る所の国分二寺に仏菩薩像を造り奉る」という記事が見え、国府の近くに国分寺があったことがうかがえます。

このように遺跡の立地、遺構や遺物などから考えて、堂の前遺跡は、平安時代の出羽国分寺の擬定地としてもっとも有力な遺跡とされています。昭和54年に史跡に指定された堂の前遺跡は、現在は水田地帯のただ中で、そこだけが草地となっており、田植えが終わる頃には浮島のような景観を供してくれます。

（尾形與典）

Illustration © Kurosaka Hiromi

筏風地業

柱根

遺跡の現況

資料提供：山形県教育委員会

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は，当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお，郵送料はご負担いただきます。

電話 **023(672)5301**（代表）

編　集　後　記

小・中学校へ職員を派遣しての「出前授業」は、今年度[redacted]件を数えました。初年度の昨年は４件でしたので、担当職員も大忙しの一年でした。今回ご紹介した催し物を含め、広報誌やホームページを通して、これからも県内の文化財情報を発信していきます。